

第5号様式（第7条関係）

会議録

開催日時	平成25年2月1日(金) 午後1時30分から午後2時45分
開催場所	新川体育館 1階 大会議室
会議概要	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 西枇杷島地区の保育ニーズ対応計画(案) について (2) 夢の森保育園の統廃合計画(案)について 4 閉会
会議資料	会議次第 委員名簿 資料1：西枇杷島地区の保育ニーズ対応計画(案) 資料2：温水プール跡地の周辺環境 資料3：西枇杷島第2幼稚園の周辺環境 資料4：西枇杷島地区の保育園、幼稚園の配置 資料5：夢の森保育園の統廃合計画(案) 資料6：春日地区の保育園の配置
傍聴人の数 (公開した場合)	3人
欠席委員	建部委員
出席者 (市)	加藤市長、大鐘健康福祉部長、浅田学校教育課長
事務局	〔子育て支援課〕林課長、杉村主幹、伊藤副主幹、浅井係長
会議録署名委員	村瀬委員、谷委員

1 開会

●伊藤副主幹

皆さまこんにちは。私は、本日の司会を務めさせていただきます子育て支援課副主幹の伊藤です。よろしくお願ひいたします。開会に先立ちまして、本日の委員の出席状況について、ご報告させていただきます。会議次第を1枚おめくりいただき、名簿をご覧ください。本日は、建部委員長が急用で欠席されると報告を受けております。次世代育成支援対策行動計画策定委員会設置要綱の第6条第2項の規定により、本日は委員の過半数以上の方が、ご出席をいただいておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。なお、清須市附属機関等の会議の公開に関する要綱では、附属機関等の会議及び会議録は、清須市情報公開条例の規定に基づき、非公開という扱いをしているものを除き、原則公開することとなっています。非公開としている情報は、個人情報などですが、この会議では非公開とする情報は審議する予定はございません。従いまして、本委員会及び会議録は公開とさせていただきますので、よろしくお願ひします。なお、本日は、傍聴者の方がお見えになっております。傍聴者の方には、入場していただいているので、よろしくお願ひいたします。それでは、ただ今から次世代育成支援対策行動計画策定委員会を開会いたします。開会にあたりまして、加藤市長からご挨拶申し上げます。

2 あいさつ

●加藤市長

あらためまして、皆様こんにちは。本日は、それぞれお忙しいところ、次世代育成支援対策行動計画策定委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。常日頃、皆様方には、子育て支援を始め市の各方面において、お力添えをいただいております。この場をお借りしまして、厚くお礼を申し上げます。さて、本日は、昨年11月にもご審議いただきました2つの案件ですが、1つは西枇杷島地区の保育ニーズへの対応として、西枇杷島第2幼稚園を保育化すること、もう1つは、春日地区の保育所につきましては、合併前からご検討していただいた統廃合についてでございますが、こうした課題につきまして、本日は市としての考え方をお示しし、この委員会として、おまとめていただきたいと考えております。なお、保育所整備については、合併以降、須ヶ口保育園の増改築耐震化工事や花水木保育園の新築などを進めてまいりました。また、本年度も朝日保育園の耐震化工事に着手してまいりました。朝日保育園については、昨年9月から工事を行い、1月末で園舎工事が完了し、来週月曜日から保育運営することになっております。今後も未来の清須市を背負って立つ子ども達のため、また働くお母さん方にとて、子どもを産み、育てやすい環境整備を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。いずれにいたしましても、本日は市にと

っては大変重要な事案についてご協議いただくことになっておりますので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。さて、清須市には朝日遺跡という弥生時代の大規模な環濠集落がございます。昭和40年代以降、名古屋環状2号線の建設に伴って、大規模な調査が行われところ、膨大な遺物が出土し、これらの出土品は弥生時代を考証するうえで極めて重要な資料として評価されています。この度、清洲貝殻山貝塚資料館において、3月20日から5月19日までの2か月間、国の重要文化財に指定された遺物2,028点が展示されます。この展覧会は、貴重な文化遺物を広く県民の皆さんにご覧いただく機会となり、また、こうした機会を捉えて、清須市を全国にアピールしてまいりたいと思っております。どうぞ、皆様方におかれましてもわが街が誇る弥生文化の至宝をぜひご覧いただけますよう、お願い申し上げて、簡単ではございますが、開会にあたりひと言ご挨拶とさせていただきます。

●伊藤副主幹

ありがとうございました。それでは、議事に入りたいと思います。議事進行につきましては、委員会設置要綱の第6条の規定により委員長が議長となることとなっておりますが、建部委員長が欠席ですので、議事進行につきましては、山田副委員長にお願いしたいと思います。

3 議題

●山田副委員長

それでは、規定に基づき議事の進行を務めさせていただきますが、なにぶんにも不慣れですので、皆様方のご協力により、会議を円滑に進めたいと思いますので、よろしくお願いいいたします。なお、会議録署名委員を村瀬委員、谷委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。それでは、議事に入ります。なお、ご意見、ご質問につきましては、議事ごとにお受けしたいと思いますので、よろしくお願いします。最初に、「西枇杷島地区の保育ニーズ対応計画（案）について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

●林課長

子育て支援課、林課長から議題(1)下記の資料説明。

- 資料1 西枇杷島地区の保育ニーズ対応計画（案）
- 資料2 温水プール跡地の周辺環境
- 資料3 西枇杷島第2幼稚園の周辺環境
- 資料4 西枇杷島地区の保育園、幼稚園の配置

●山田副委員長

ただいま、議題(1)の「西枇杷島地区の保育ニーズ対応計画（案）について」

事務局からご説明しましたが、ご意見、ご質問がありましたら、挙手をお願いします。

●荒川委員

27年度末に西枇杷島第2幼稚園が閉園するとなれば、来年度に入る園児に配慮してということなので、来年度は募集をかけないということなのですか。

●林課長

来年度についても入園募集は、行っていく予定です。

○荒川委員

第2幼稚園が閉園になった場合、第1幼稚園で全て対応するということですが、定員270人で年少・年中・年長と入園は可能でしょうか。

●林課長

第1幼稚園の定員は、270名です。第1幼稚園では、過去には250人程度の園児が入所していた時期もあります。また来年度、西枇杷島保育園の改修工事を実施し、給食を自園給食から給食センター方式に切替えることにより、現在の定員を20名増やし、定員150名といたします。さらに、新しくできる温水プール跡地の保育園でも定員150人を予定しています。こうした対応により、西枇杷島地区の保育ニーズへの対応は可能であると考えています。

○荒川委員

第2幼稚園の園児を新しくできる保育園と20人増える現存の保育園に振り分けても、現状、他の地区に通っている80人を受け入れる事はできないのではないでしょうか。また、公立幼稚園に通っている子ども達は私立幼稚園に行くことになるのでしょうか。

●林課長

前回の会議で幼稚園と保育園のクラス数の想定資料を出させていただきました。保育園で300人、幼稚園で270人、計570人の受け入れは可能でありますので、他地区へ通園しているお子さんが戻ってきた場合でも、対応は可能であると考えております。

○荒川委員

幼稚園の授業料が低いので、授業料、保育料の見直しを検討すると書いてありますが、保育園は時間が長いから保育料が高く、それは納得が出来ます。保育園は絶対に午後4時でないと帰れないのですか。例えば、私的契約児で午後2時に降園した場合、それなりに安い保育料にするということはないのでしょうか。自

分の知り合いの子ども達の場合、近いからということで近所の保育園に通う事になりました。その時、午後4時までは長いので、自分の子ども達の場合も午後2時に降園し、その後、友達を家に呼んで遊ぶことをしたり、近所の公園で遊ぶこともしてきました。保育園に通うとなると帰ってくるのが遅くなるので、そういう事をしようと思うと午後5時くらいになってしまいます。この時期の年齢では午後5時になると、もう眠くなりご飯の時間にもなります。保育園の対応では、友達とも保育園の中では遊んでください、しかし、親を介した遊びは、土日だけにしてくださいという事になるのではないかと思うか。この場合、私立幼稚園に行けば良いと考える方もいると思いますが、地区で遊ぶというのも大事なことだとだと思います。保育園で幼稚園のように短い時間をみてもらうことはできないのでしょうか。働いている人しか見てもらえないのでしょうか。

●林課長

現行の制度では、降園は午後4時となっております。現在、子ども・子育て関連3法が制定されており、今後この3法に基づき詳細な新しい制度の内容が示され、その内容によっては、様々なニーズなども考えていくことになるかと思います。

●大鐘部長

保育園の保育時間は、午前8時から午後4時ですが、これは、1つに働くお母さんのためということもあります、地域の中で子どもたちが少なくなっています、子どもたちが集団の中で生活するという社会でなくなっているということから、保育園での集団生活が大事なものということもあります。保育園の中で子どものために一定の生活リズムを作つてあげようということで、基本的な時間が午前8時から午後4時ということになっています。その生活リズムの中で、お子さんの成長、健やかな発達を援助していくというものです。ただし、それぞれの家庭で事情というものがありますので、登園の時間や降園の時間を個別で相談しながら対応しております。

○荒川委員

ということは、例えば、学校や幼稚園のように何時に登校して、何時に下校するという、リズムはないということでしょうか。

●林課長

保育園での保育時間は、午前8時から午後4時ということになっています。登降園の時間は、それぞれの家庭の事情により、弾力的に行っております。

○荒川委員

保育料の件ですが、私的契約について以前の会議で「幼稚園に通わせているの

は裕福な家庭」というようなことを言われたが「働かない自由を選択していると言ふことは働くなくても良い生活をしている」というとり方もされました。幼稚園に通わせている方の中には働くのではなく、働けない方もいます。そういった方が保育園に通わせようと思うと私の契約児ということになり高い保育料を払うことになります。私たちから見ると保育園に通っている方は働いていて収入もあるのに安い保育料ということになっているように思われるのですが、働いているお母さんを助けましょうと言っていることが、反対に働けないお母さんは排除しましょうというように聞こえてしまうと思われるのですが。

●林課長

今は夫婦共働きが多く、働くなければ生活ができない人たちもたくさんいます。市の責務としては、こうした方たちの就労を支援していくというものであり、困っている人を助けていくというもので、こうした事が大前提です。市立幼稚園を2園とも保育園に変えるということではなく、まず1園で対応していきたいと考えています。その中で、保育ニーズに対応するために、プール跡地に保育園を建設させていただきたいと思っています。

○荒川委員

プール跡地に保育園を建設したら、第2幼稚園は閉園というように書かれていたかと思います。過去にあった第3幼稚園のように園児が少なくなってきたから閉園ということならば納得はできますが、第2幼稚園は100人を超えてるので閉園の影響は大きいと思います。なぜ、園児が減ってきてから閉園という事にならないのでしょうか。

●林課長

本市の財政状況や出生状況から、効率的かつ効果的にさまざまな事業を進める中で、今回、保育園の幼稚園化を計画しているもので、西枇杷島地区に保育園を2園、幼稚園を2園体制とするのではなく、1つは幼稚園から保育園に変えて、こうした中で保育園を必要としている方を助けていくというのを目的としていますので、今回は1つ幼稚園を残して、第2幼稚園を保育園化とさせていただきます。当初は、第2幼稚園を改修する予定でしたが、保護者の皆さんのご意見に対応していく上で、改修工事をすることはいくつかの課題がありますので、逆にプール跡地に建設したほうが耐用年数やたんぽぽ園との交流などのメリットがあるため、今回の提案を選択させていただきました。

○荒川委員

第2幼稚園は、今後ニーズがあるかもしれないと思いますので、そういう施設をなぜ閉園するのでしょうか。それは、授業料が低いので幼稚園の運営が出来ないということでしょうか。

●林課長

保育園を建設して同時に第2幼稚園を運営していくということは、新たに施設維持管理費、人件費が必要となります。こうした費用をさらに幼稚園にかけるというのは現状では難しいということでご理解をしていただきたいと思います。

○小川委員

一番考えないといけないことは、西枇杷島地区では保育園に行くのに苦労している人たちがいるということです。同じ清須市に住んでいながら、保育園になぜ西枇杷島地区の人はバランスよく入れないのかということです。市として、保育ニーズに対応するという事は、保護者の方が就労ということで、保育を必要としているということと関係しているはずです。私の周りでも近くに今の時代の団地が出来ましたが、ほとんどの家庭が共稼ぎです。朝、お子さんを預けて夜に迎えに行く、このシステムで今の日本が救われていくと思っています。西枇杷島地区の伝統として幼稚園が2園あるが、逆に他の地区から見たら授業料の安い幼稚園が2園もあってうらやましいという意見もあるのではないかでしょうか。今まで市からいくつかの案が出されました、私は委員として本案を支持します。

○原田委員

第2幼稚園のニーズもあるから残して欲しいという、個人、一人ひとりの都合を考えて、その対応をして欲しいと言うのは難しいと思います。西枇杷島地区で保育園に入れたいという人々は、今まで大変だったと思いますし、長く我慢していました。その方々のニーズはどうするのでしょうか。また、逆に他の地区の方々が授業料の安い幼稚園を作つて欲しいという意見があればどうするのでしょうか。そういうことを考えていただき幼稚園ではなく保育園を充実していくことになって欲しいと思います。そうするためにには、心の準備をする時間もあるので、平成28年度からという事務局案に賛成です。安心できる街づくりのため、みんなの声が行き届くような子育てを目指していくためにも、そう考えています。

○塚本委員

議論の内容が母のためと聞こえます。一番は子どものためにどうしていくかということではないのか思います。お母さん方が育った幼稚園が良い思い出であるように、子ども達も保育園で育ち、良かったとなると思います。子どもの順応性は高いです。仕事が出来ないお母さんもいるという事でしたが、内職のような簡単な仕事を少しでもしていたら、預けることが出来ます。子どもとの時間が作りたいということも保育園は相談にのられるということですので、あとはお母さん方の心しだいだと思います。教育面で、心配してらっしゃる方もいると思いますが、幼稚園と保育園で育った子どもで就学時にどれくらいの違いが出るか良い機会なので委員の中に学校の先生もいるのでお聞きしたいと思います。

○青木委員

本校では毎年50人ほどの生徒が入学し、そのうち2割程度が私立幼稚園出身です。しかし、幼稚園出身だから、保育園出身だからといって学習にあたって、生活にあたって差は無いかと思います。

○日下部委員

昨年、若いお母さん2人の相談を受けました。核家族が増えた関係か子どもを預けたいのに預けられない方が増えていると感じました。私の孫の話しになりますが、保育園を出た子も幼稚園を出た子もいますが、どちらも良い面があると思います。西枇杷島地区に大きな保育園が出来ることは良いことだと思うので、事務局案に賛成します。

○中川委員

私は過去に乳児を保育園に預けていましたが、今のお母さんは私の時代に比べて保育園になかなか入園できない状況になっています。その理由は、西枇杷島地区の方が、新川地区に流れてきていることにより、私の知人などは住んでいる地区でなく、遠くの別の地区に預けざるを得ない状況になっています。こうした事を解消するためにも西枇杷島地区に保育園を作つて欲しいと思います。

○荒川委員

保育園を増やすこと自体は反対ではないです。ただ、西枇杷島地区に幼稚園が2つもあるから保育園を作ろうと言われているように聞こえます。確かに子どもは午後4時までという保育園の生活のリズムを作れると思いますが、幼稚園での幼児教育としてのリズムは大切にしていきたいと思います。また、働いているお母さんと、そうでないお母さんの日常生活のリズムは違うと思います。私的契約児の保育料が高いからといって、内職などをして、入園するということには抵抗があります。

○内田委員

私は7年間、市教育長として市立幼稚園を指導してきました。その中で小学校1年生に就学した際、対応できるよう市立幼稚園の教育を申し出てきました。では、保育園ではどうであるかといえば、現在では同じであります。文部科学省と厚生労働省という管轄の違いはありますが、内容は同一であります。これは、確認済みであります。今後は清須市として責任を持ち、将来のある子ども達の子育てをどう考えるか。ということが一番大事であります。もちろん、個人の考え方もありますが、最大公約数というものを考えながら、一番良い幼稚園・保育園を考えて、進めていくというのが目的として、ここで議論されているのではないのでしょうか。

○塚本委員

保育料のために、仕事をするのは抵抗があると言われましたが、高い保育料を払えないため、それをしなくてはならない方もいます。また、午後2時にこだわっているようですが、それは可能だと思います。話を聞いてみると、短い保育時間で安い保育料にして欲しいように聞こえますが、幼稚園から保育園に変わる段階で仕方がないことだと思います。午後4時まで保育園で生活することにされているようですが、小学校で授業をがんばって受けての午後4時までと、保育園で先生と遊び、お昼寝もあっての午後4時とは違うのではないかでしょうか。お母さん方には新しく、きれいな保育園で友達と長く遊べるなど保育園の良さをお子さんに伝えてほしいと思います。

●山田副委員長

皆さま方から様々なご意見を頂きましたが、委員会としての意見をまとめさせていただきます。「保育ニーズに対応するため、温水プール跡地に新たに保育園を新設して、西枇杷島第2幼稚園は閉園する」という事務局案で、よろしいでしょうか。

【異議なしの声、拍手多数】

●山田副委員長

それでは、委員会としては、「温水プール跡地に保育園を新設して、西枇杷島第2幼稚園は閉園する」という事務局案どおり、まとめさせていただきます。

●山田副委員長

続きまして、議題2の「夢の森保育園の統廃合計画（案）について」事務局からご説明をお願いします。

●林課長

子育て支援課、林課長から議題(2)下記の資料説明。

資料5 夢の森保育園の統廃合計画（案）

資料6 春日地区の保育園の配置

●山田副委員長

ただいま、議題2の「夢の森保育園の統廃合計画（案）について」事務局からご説明しましたが、ご意見、ご質問がありましたら、挙手をお願いします。

●山田副委員長

ご意見、ご質問がないようですので、委員会として、まとめさせていただきます。「夢の森保育園を閉園し、ネギヤ保育園へ統合する。」という事務局案で、よ

ろしいでしょうか。

【異議なしの声】

●山田副委員長

それでは、委員会としては、「資料のスケジュールどおり、夢の森保育園を閉園し、ネギヤ保育園へ統合する」という事務局案どおり、まとめさせていただきます。

●山田副委員長

以上で、本日の議事は全て終了いたしました。

皆様方のご協力によりまして、会議を円滑に進めることができましたことに、お礼申し上げます。長時間に渡りまして、ご協議ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。

これをもちまして、本日の次世代育成支援対策行動計画策定委員会を閉会いたします。皆様、ご苦労さまでした。

4 閉会

会議の結果	議題1、議題2とともに承認。
-------	----------------

上記のとおり会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成 25 年 2 月 20 日

委員 村瀬 正宇 

平成 25 年 2 月 20 日

委員 谷 尚子 